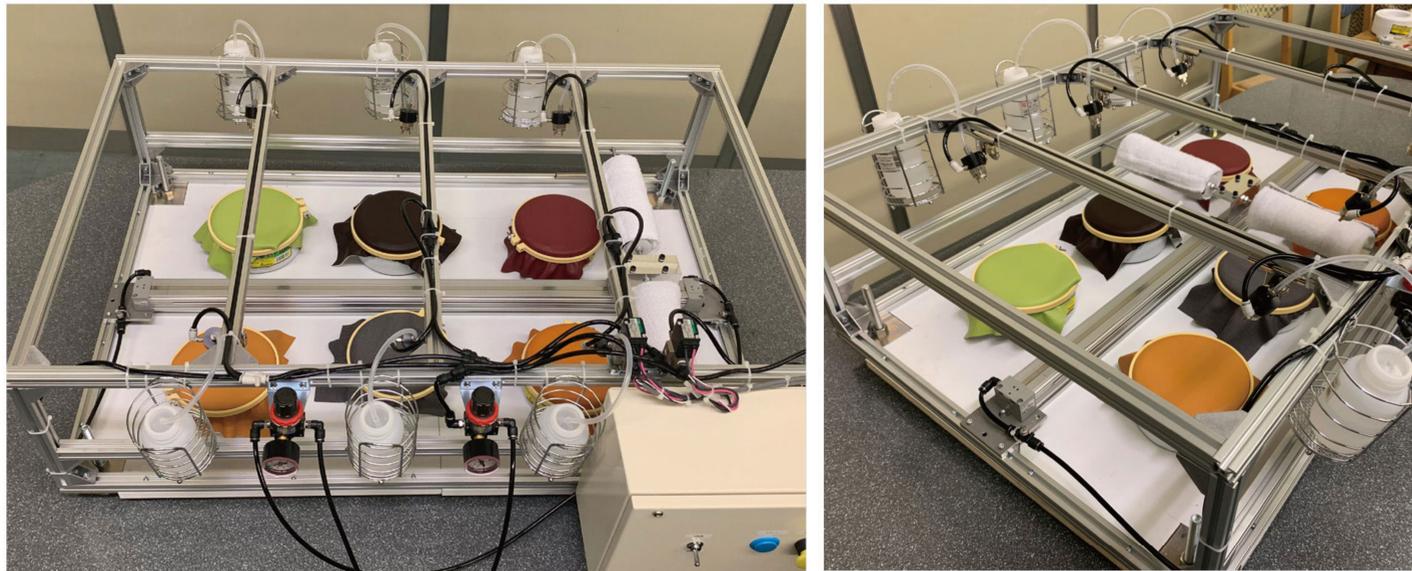
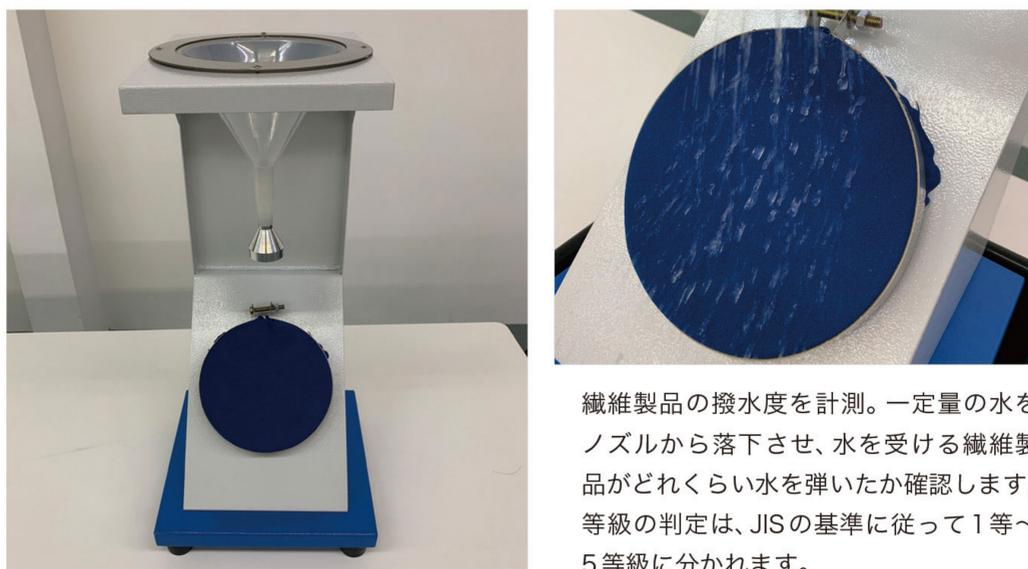


準耐アルコール試験機



標準法が存在しない為、IDC(株)とシンコー(株)にて、準耐アルコール試験法を開発(特許第6265492号取得済み)し、業界へオープンにして標準化しています。そのアナログ方法を、新設計の試験機で再現して、大量に試験を行っています。この試験機の販売も行っております。定義された濃度のアルコールを500回と1000回の噴きかけ及びふき取りを繰り返して、レザーの硬化を確認します。

撥水試験機 (JIS L 1092 はっ水度試験 スプレー法)



繊維製品の撥水度を計測。一定量の水をノズルから落下させ、水を受ける繊維製品がどれくらい水を弾いたか確認します。等級の判定は、JISの基準に従って1等～5等級に分かれます。

平面摩擦試験機 (学振型) (JIS L 0823 学振型)

一定の加重をかけながら、粗くて硬い帆布を往復させて摩擦させます。レザー表面が切れるタイミングや切れかたにより、表面強度の具合を計ります。椅子張りレザーでは、30年以上の知見が蓄積された最も活用している摩擦試験方法です。

赤外線分光試験機

レザーや繊維の分子構成を割り出す為のものです。クレーム発生時には、問題のある対象物の組成を%で割り出して、化学的な問題であるか、そうであれば、その原因を探ります。国内外で流通している安いレザー、又は輸入の安い家具に使用されているレザー数百点を分析してきたケースでは、粗100%、問題のある化学構成で作られていました。また、偽物か本物かも、使われている分子の数や%の違いで見抜くことが出来ます。オールマイティー同等とうたうレザーほど、酷い構成で、クレーム発生することは、皆さんの経験の通りです。

スナッキング JIS L 1058



シリンダーに生地を取り付け、表面にゴルフボール大ぐらいの針がいた球体をランダムに飛び跳ねさせ、シリンダーを100回転後に糸の飛び出し等が発生するかを確認します。JISの基準に従って1級～5級で判定をします。